

最近の北海道経済の動向等について (全国財務局長会議報告資料)


- I. 最近の北海道財務局管内の経済情勢
- II. 物価高等に関する北海道経済の特徴
- III. 物価高・円安に対する企業の生声
- IV. 個社事例 ～地域企業における物価高・円安への取組等～

令和5年1月
北海道財務局

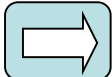

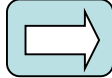

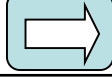

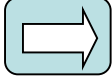


【問い合わせ先】
財務省北海道財務局 総務部 経済調査課
電話011(709)2311(内線4381)



I. 最近の北海道財務局管内の経済情勢

	前回（4年10月判断）	今回（5年1月判断）	前回比較	総括判断の要点
総括判断	緩やかに持ち直しつつある	緩やかに持ち直しつつある		個人消費は、物価上昇の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。生産活動は、弱含んでいる。雇用情勢は、持ち直しつつある。観光は、持ち直しつつある。

〔先行き〕先行きについては、ウイズコロナの下で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響や中国における感染拡大の影響に十分注意する必要がある。

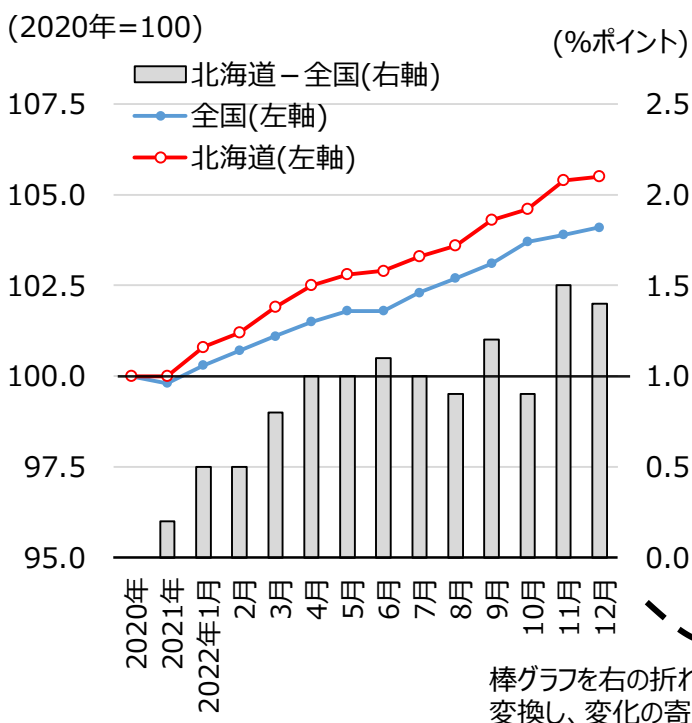
	前回（4年10月判断）	今回（5年1月判断）	前回比較	備考
個人消費	物価上昇の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある	物価上昇の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある		
生産活動	足踏みの状況にある	弱含んでいる		下方修正は、令和4年1月判断以来、4期ぶり
設備投資	4年度は増加見込み	4年度は増加見込み		
雇用情勢	緩やかに持ち直しつつある	持ち直しつつある		上方修正は、令和4年7月判断以来、2期ぶり
住宅建設	弱含んでいる	弱含んでいる		
観光	感染症の影響が引き続きみられるものの、緩やかに持ち直しつつある	持ち直しつつある		上方修正は、令和4年7月判断以来、2期ぶり
公共事業	前年を下回る	前年を下回る		
企業の景況感	「上昇」超となっている	「下降」超となっている		下方修正は、令和4年4月判断以来、3期ぶり
企業収益	4年度は減益見込み	4年度は減益見込み		

（注） 5年1月判断は、前回4年10月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

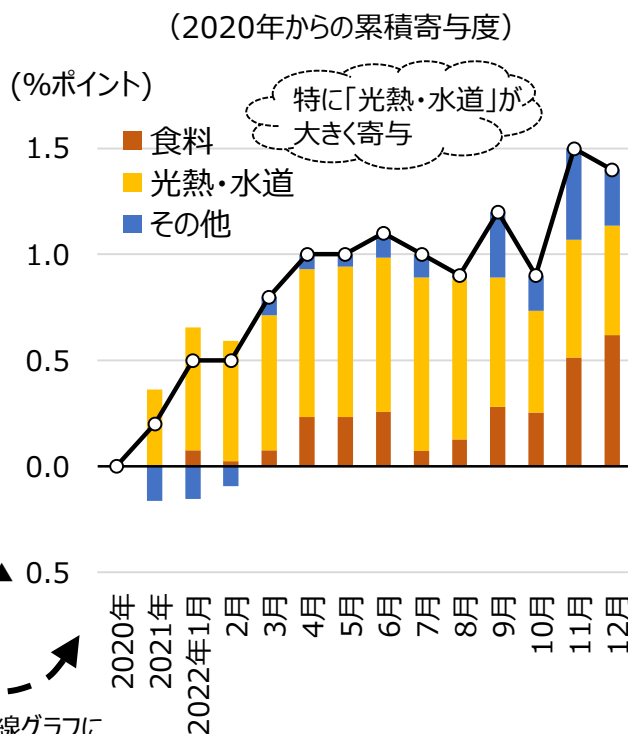
Ⅱ. 物価高等に関する北海道経済の特徴 ～消費者物価指数～

- 北海道の消費者物価指数（総合）の推移をみると、北海道の方が全国より高く推移している。
- 北海道と全国の消費者物価指数の差の要因をみると、全国より高い北海道の上昇は、概ね「光熱・水道」が寄与している。
- 北海道と全国の消費者物価指数の構成比の差をみると、主に「光熱・水道」、「交通・通信」は北海道の方が高くなっており、主に「住居」、「教育」は全国の方が高くなっている。

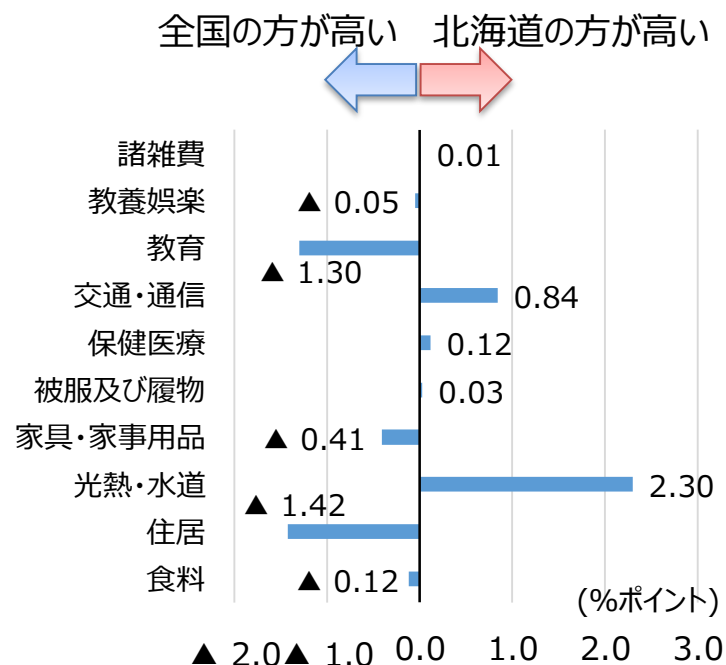
①【北海道・全国】消費者物価指数(総合)



② 北海道と全国との差の要因



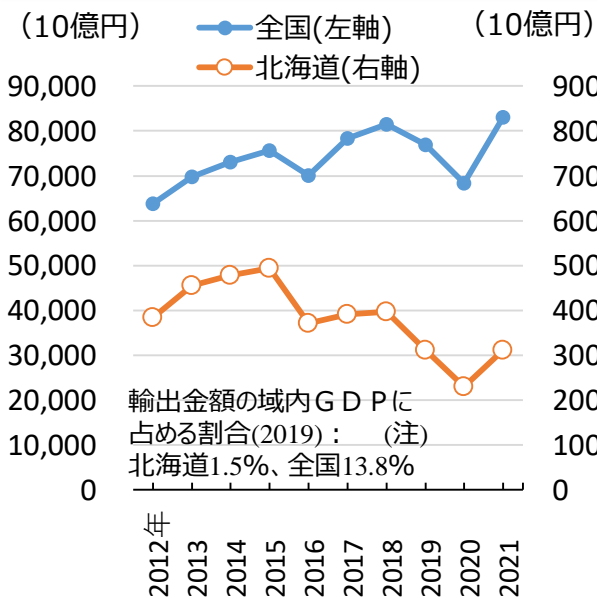
③ 北海道と全国の構成比の差



Ⅱ. 物価高等に関する北海道経済の特徴 ～輸出・観光～

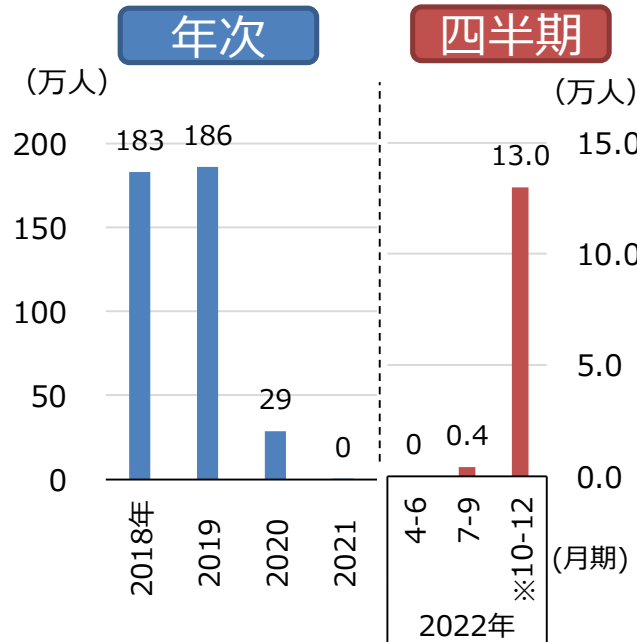
- 北海道の財の輸出金額は、全国が増加傾向であるのに対して、製造業の構成比の低さや工場の閉鎖などにより、2016年から減少傾向にある。
 なお、輸出金額の域内総生産に占める比率は、全国の13.8%に対して、北海道は1.5%と低い。
- 外国人入国者数をみると、コロナ禍前の2019年では年間186万人（月平均15.5万人）で、コロナ禍でほぼゼロ人となったものの、2022年10-12月期では13万人と、円安効果を受けたインバウンドによる観光の回復が期待される。
- 観光消費額の上位5都道府県をみると、コロナ禍前の2019年では、東京都、大阪府、北海道、千葉県、沖縄県の順となっており、今後の観光への期待は大きい。

① 【北海道・全国】輸出金額の推移



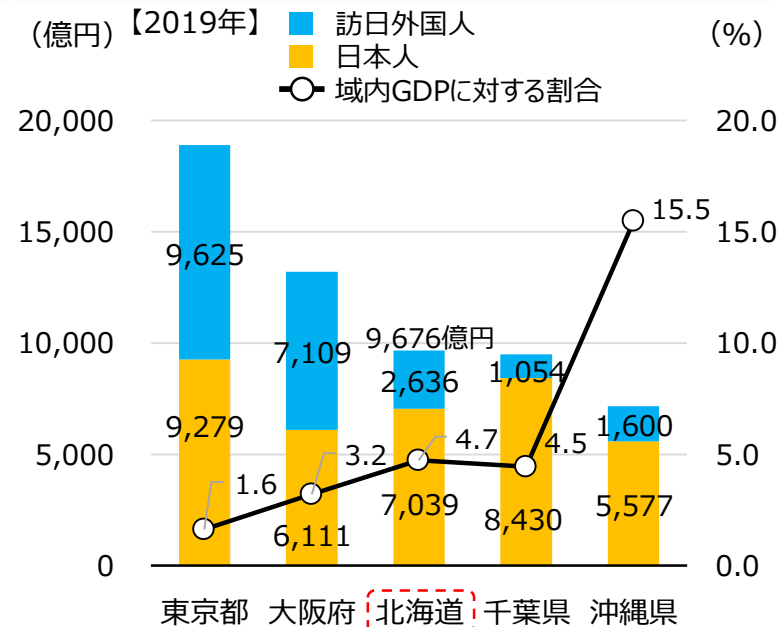
(注) 輸出は年、域内GDPは年度で計算

② 【北海道】外国人入国者数



(出所) 出入国在留管理庁「出入国管理統計」
 ※10-12月期は速報値

③ 観光消費額の上位5都道府県



(注) 観光消費額は年、域内GDPは年度で計算
 (出所) 内閣府「県民経済計算」、観光庁「旅行・観光消費動向調査」

Ⅲ. 物価高・円安に対する企業の生声

① 価格転嫁の動向

- 原材料価格の高騰などで生産コストが上昇しているものの、価格転嫁により、売上高は平年を上回っている。【中堅・輸送用機械】
- 3か月前と比較して、紙、インク等の価格は1～2割、電気料金は5割以上上昇しているが、価格転嫁が十分にできており、現時点では景況感に大きな影響はない。【中小・その他製造】
- 年明け以降、運送費（軽油、車両、修理代等）のコスト上昇分を転嫁する価格交渉ができない。度重なる物価上昇や供給制限から、取引先の体力が弱体化していることが背景にある。【中小・運輸、郵便】
- 徐々に販売価格へ転嫁しているものの、道内工事向け需要が停滞していることもあり、仕入価格の上昇に追いついていない。【中堅・鉄鋼】
- 資源価格高騰の不安材料が依然として残る中、公共工事は物価上昇分を請負価格に反映できるが、民間工事は転嫁するのに苦戦している。

【注】○は価格転嫁し易い、●は価格転嫁し難い 【大・建設】

③ 企業の対応、政策支援の効果

- 為替の影響を含む原材料高について、販売価格へ転嫁しきれていないなか、水道光熱費についても大きく上昇しており負担感が強い。 【中堅・飲食】
- ガソリン販売について、顧客の節約志向から販売量が減少していることに加え、価格の更なる高騰も懸念されていたものの、政府の補助金制度により、当社売上げの落ち込みを低減できている。【中小・小売】
- 燃料費高騰の影響は、効率的な出漁でコスト上昇を抑えている。また、漁業収入安定対策事業による補助制度によって収支プラスを維持できている。【中堅・農林水産】

② 円安に関する特徴的な声

- 円安効果によりインバウンドが伸びるほか、日本人も海外でなく国内旅行することから、当社としては良い影響が大きい。【中堅・宿泊】
- 一部部品について、長年の付き合いがある取引先からまとめ買いをして仕入価格を固定するなどの取組により、ある程度価格上昇が抑えられている。【中小・金属製品】
- 円安の影響については、海外産原材料の値上がりによりマイナスの影響を受けている。原材料を国内産にシフトすることは、国内産の価格が高いことに加え、安定的に品質と量を確保することも困難であることから、現時点では考えていない。【大・食料品】
- 酪農向け配合飼料について、円安等の影響から飼料の輸入単価が上昇している。こうした中、昨今の牛乳生産過剰により乳牛に餌を多く与えない状況にあり、販売数量の増加も見込めない。【大・食料品】

④ その他(電気代等)

- 電気代等の動力費については、年初に間接費として策定しており、顧客への転嫁（提示）は難しいため、人件費・開発費などのその他の費用で調整している。【中堅・機械】
- 電気代の高騰により、オール電化の家庭でFFストーブ、石油ファンヒーターを購入する動きがあるほか、10月以降、省エネ性能が高い寒冷地仕様エアコンの売行きが良く、一時品薄になったほどである。 【中小・小売】
- 節電や省エネを目的とした補修用品で、窓に張り付けて暖房効率を上げる断熱用品が良く売れた。【中堅・小売】

IV. 個社事例 ～地域企業における物価高・円安への取組等～

北海道の「食」の価値を高め、
北海道の発展に貢献するために。



(株)セコマ (セイコーマート)

(本 社) 北海道札幌市 (設 立) 1974年
(資本金) 4億2,805万円 (業 種) 事業持株会社
(店舗数) 1,180店 (北海道1,085店、茨城86店、埼玉9店)
(2022年12月末時点)

(企業概要)
北海道を地盤とするコンビニ、セイコーマートを展開。原料生産・製造、物流・サービス、小売までを自ら担う

背景

- ・ウクライナ情勢や円安等に伴う物価高 (主に食品・原油等)
- ・原油高等に伴う輸送コスト高

商品ごとの取組と効果

フライドチキン

- ・鶏肉の調達先を拡大し、市況に応じて買付
- ・ブロック肉を輸入して国内で加工するほか、原料メーカーと加工方法を交渉し、歩留まりを向上



フライドポテト

- ・価格が上昇した米国産じゃがいもの約半数を北海道産に代替し、産地をアピールする商品として販売
- ・米国産は一回の調達量を拡大し、仕入単価を引き下げ (グループ倉庫の割付けを見直し、追加出費を回避)



ワイン

- ・グループの国内物流網を活用し、より安価な輸送経路を選択
- ・毎年、取扱商品の一部見直し、為替レートの変動を平準化

グループ内における取組の概略図

- 製造・物流も担うことで中間マージンを排除
- 持つ経営で、コスト削減を多様にスムーズに実践
- グループ全体で利益を上げる体制構築



今後の展開

輸出に向けた取組

- ・上海博覧会に出展し、北海道ブランドの人気を実感
- ・サワーなどの飲料、乳製品などを香港や台湾などアジアを中心に輸出